



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社レダックス 上場取引所 東
コード番号 7602 URL <https://www.ledax.co.jp>
代表者 （役職名）取締役兼代表執行役社長 （氏名）長倉 統己
問合せ先責任者 （役職名）経営企画室課長 （氏名）高橋 英知 TEL 03-3239-3185
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	9,275	△5.0	△133	—	△101	—	△85	—
2025年3月期中間期	9,759	10.8	△69	—	△29	—	△47	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △88百万円（－％） 2025年3月期中間期 △30百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△4.11	—
2025年3月期中間期	△2.31	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	6,706	4,769	67.4
2025年3月期	7,072	4,858	65.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,521百万円 2025年3月期 4,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	22,000	9.8	350	—	350	—	245	11.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	24,106,009株	2025年3月期	24,106,009株
2026年3月期中間期	3,376,893株	2025年3月期	3,376,583株
2026年3月期中間期	20,729,310株	2025年3月期中間期	20,729,891株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 新規事業新設にかかる金融投資事業部における業績への寄与に関する件	3
(3) 当中間期の財政状態の概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日)におけるわが国の経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復しております。今後の先行きについても、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要です。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。

当社グループが属する自動車業界におきましては、新車登録台数(軽自動車含む)は、181万台(乗用のみ、貨物・バス等除く)となり、前年同期比0.6%の増加となりました。中古車登録台数(軽自動車含む)は、265万台(乗用のみ、貨物・バス等除く)となり、前年同期比1.5%の増加となりました(出典:一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会)。

このような環境の中で当社は、親会社である株式会社レダグループホールディングスのグループ会社として、更なる事業セグメントの無限化・多様化・スピード化による成長戦略を明確にすることを目的としております。そのため、投資事業、金融事業、不動産事業、M&Aコンサルタント事業を積極的に推進しております。

また、2024年10月より金融投資事業部を設置し人材を投入した上で、投資事業及び金融事業の強化を積極的に推進しております。

当社グループは、「自動車流通事業」として、株式会社カーチス、株式会社アガスタ、株式会社タカトク、新興自動車株式会社、「リースバック関連事業」として、株式会社カーチスロジテックにて形成されております。

当第2四半期連結会計期間(2025年7月1日から2025年9月30日)におきましては、株式会社アガスタ、株式会社タカトク、新興自動車株式会社、株式会社カーチスロジテックのいずれも営業利益では黒字計上を達成しております。株式会社カーチスでは、組織・運営体制の大幅な見直しと在庫車両構成の一新により、在庫回転率及び粗利率の向上を実現しました。今後も「顧客ファースト」のスローガンのもと、お客様の目線に立った「買取直販」を積極的に推進してまいります。多様化するお客様のニーズに対応するため、保証やメンテナンスパッケージなどの付帯サービスを強化させることにより付帯収益の向上及び車検や保険など納車後のアフターサービスの充実を通じて、「生涯顧客」としてのお客様との継続的な取引を強化していきます。また、カーチス倶楽部会員を対象としたサービスの拡充にも努め、取引の増加を図ります。

新規出店につきましては、販売センターを中心とした候補地の情報収集を積極的に進めております。しかしながら、不動産相場や建設費の高騰を踏まえ、慎重に判断しております。既存店舗のスクラップアンドビルドやM&A等による事業展開も視野に入れ、グループ全体の収益力向上を目指します。

商用車関連では、株式会社カーチスロジテックが、カーチス倶楽部会員や法人顧客を対象とした新たな顧客層の開拓により、トラックなど商用車の買取・販売取引を展開しております。

海外関連では、株式会社アガスタにおいて、アジア・オセアニア・アフリカ諸国との輸出取引が活発に推移しております。ウガンダに開設したオフィスやパキスタンのコールセンターと連携し、周辺諸国への事業展開を進めております。

「リースバック関連事業」においては、株式会社カーチスロジテックが、金融機関、大手物流業者との連携及びカーチス倶楽部会員を通じた運送事業者等への事業認知度向上に努めております。リース及びリースバック事業を中心に、商用車の買取・販売事業、運送会社のM&Aアドバイザリー事業、金融業等も手掛ける総合物流商社となることを目指しております。運送会社の資金繰り等への支援と物流事業の安定化に貢献するため、物流管理プラットフォームとして、金融機関や大手物流業者との連携、カーチス倶楽部会員を通じた運送事業者等への事業認知度向上に注力し、リースバック関連事業及び商用車関連取引の更なる拡大を図ることで、今後の物流業界の大きな発展に寄与してまいります。

販売費及び一般管理費につきましては、新興自動車株式会社の買収による増加があるものの、各科目の見直しや業務改善による効率的な経費削減を継続的に実施しております。同時に売上拡大に向けた人員採用や、知名度向上及び来店促進のための広告費投入といった戦略的投資も積極的に行っております。

これらの施策により、当第2四半期連結会計期間(2025年7月1日から2025年9月30日)の売上高は5,075百万円、営業利益は18百万円、経常利益は66百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は84百万円と黒字計上となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は9,275百万円(前年同期比5.0%減)となり、営業損失は133百万円(前年同期は営業損失69百万円)、経常損失は101百万円(前年同期は経常損失29百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は85百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失47百万円)となりました。

(2) 新規事業新設にかかる金融投資事業部における業績への寄与に関する件

当社は、金融投資事業部の第一号案件として、2024年7月31日に取得した株式会社O S M I Cホールディングス株式(取得価額: 2百万円)を、2025年7月15日付で40百万円にて譲渡いたしました。

本件取引は、株式取得後1年未満(約11.5ヶ月)という短期間において、投資元本に対し20倍(投資収益率1,900%)の譲渡価額を達成し、当中間連結会計期間における営業外収益として37百万円を計上しております。

また、当社が25年に渡り保有しておりました非上場会社株式(取得価額: 14百万円)を、同社との協議により2025年9月26日付で48百万円にて同社株主に譲渡いたしました。

本件取引は、当中間連結会計期間における特別利益として33百万円を計上しております。

当社といたしましては、引き続き、意欲的な投資事業を推進していく所存です。

(3) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は6,706百万円となり、前連結会計年度末と比べ、365百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、現金及び預金の減少166百万円、売掛金の減少289百万円及び商品の増加150百万円等によるものであります。

負債合計は1,937百万円となり、前連結会計年度末と比べ、277百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、買掛金の減少299百万円等によるものであります。

純資産は4,769百万円となり、前連結会計年度末と比べ、88百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、利益剰余金の減少85百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は67.4%(前連結会計年度は65.2%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ166百万円減少し1,487百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は189百万円(前年同期は831百万円の使用)となりました。

これは主に、売上債権の減少額289百万円、棚卸資産の増加額151百万円及び仕入債務の減少額299百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は38百万円(前年同期は77百万円の使用)となりました。

これは主に、有価証券の売却による収入40百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は15百万円(前年同期は112百万円の獲得)となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出14百万円等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,654,001	1,487,040
売掛金	1,157,287	868,049
有価証券	2,200	—
商品	2,109,561	2,260,144
貯蔵品	1,040	1,217
その他	508,424	529,231
貸倒引当金	△541	△3,420
流動資産合計	5,431,973	5,142,262
固定資産		
有形固定資産	1,060,091	1,022,598
無形固定資産	172,971	156,988
投資その他の資産		
投資有価証券	62,908	47,294
差入敷金保証金	330,139	323,408
破産更生債権等	16,511	16,451
その他	24,493	24,323
貸倒引当金	△26,486	△26,426
投資その他の資産合計	407,567	385,052
固定資産合計	1,640,630	1,564,639
資産合計	7,072,604	6,706,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	646,192	347,156
短期借入金	500,000	500,000
未払金	176,991	133,250
未払法人税等	36,162	21,709
契約負債	268,932	306,329
その他	235,277	286,671
流動負債合計	1,863,554	1,595,117
固定負債		
長期借入金	134,968	133,125
預り保証金	5,517	9,974
リース債務	23,561	11,396
繰延税金負債	33,270	33,270
資産除去債務	153,697	154,398
固定負債合計	351,015	342,165
負債合計	2,214,570	1,937,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,820,732	2,820,732
資本剰余金	851,334	851,334
利益剰余金	2,000,152	1,914,966
自己株式	△1,076,602	△1,076,643
株主資本合計	4,595,616	4,510,389
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	12,915	10,628
その他の包括利益累計額合計	12,915	10,628
非支配株主持分	249,501	248,600
純資産合計	4,858,033	4,769,618
負債純資産合計	7,072,604	6,706,902

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	9,759,340	9,275,366
売上原価	8,311,731	7,808,469
売上総利益	1,447,608	1,466,896
販売費及び一般管理費	1,516,952	1,600,862
営業損失(△)	△69,344	△133,966
営業外収益		
受取利息	1,297	1,446
受取配当金	1,770	756
有価証券売却益	—	37,800
受取保証料	828	674
為替差益	19,863	—
受取保険金	—	358
持分法による投資利益	—	682
雑収入	24,516	19,453
営業外収益合計	48,276	61,172
営業外費用		
支払利息	953	4,084
支払保証料	740	1,255
為替差損	—	15,801
持分法による投資損失	1,313	—
雑損失	5,586	7,198
営業外費用合計	8,594	28,339
経常損失(△)	△29,662	△101,133
特別利益		
固定資産売却益	11,004	2,341
投資有価証券売却益	—	33,990
国庫補助金	13,499	—
特別利益合計	24,504	36,331
特別損失		
固定資産除却損	0	—
固定資産圧縮損	12,180	—
特別損失合計	12,180	—
税金等調整前中間純損失(△)	△17,338	△64,802
法人税、住民税及び事業税	19,070	21,285
法人税等調整額	△1,738	—
法人税等合計	17,332	21,285
中間純損失(△)	△34,671	△86,087
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	13,146	△901
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△47,817	△85,185

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△34,671	△86,087
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,682	△2,286
その他の包括利益合計	3,682	△2,286
中間包括利益	△30,988	△88,373
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△44,135	△87,472
非支配株主に係る中間包括利益	13,146	△901

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△17,338	△64,802
減価償却費	59,069	56,460
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△70	2,818
受取利息及び受取配当金	△3,067	△2,203
支払利息	953	4,084
為替差損益 (△は益)	△72,181	△643
有価証券売却損益 (△は益)	—	△37,800
固定資産売却損益 (△は益)	△11,004	△2,341
国庫補助金	△13,499	—
固定資産圧縮損	12,180	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△887,591	289,237
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,160,951	△151,352
未収入金の増減額 (△は増加)	△39,244	△83,618
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△123,609	49,554
前渡金の増減額 (△は増加)	63,916	△2,275
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	70	60
仕入債務の増減額 (△は減少)	232,645	△299,035
未払金の増減額 (△は減少)	△20,177	△33,633
未払費用の増減額 (△は減少)	△31,328	12,801
契約負債の増減額 (△は減少)	1,323,273	37,396
預り金の増減額 (△は減少)	△2,529	△3,738
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△65,027	44,607
その他	△56,530	18,487
小計	△812,046	△165,934
利息及び配当金の受取額	3,067	2,203
利息の支払額	△953	△4,084
法人税等の支払額	△21,993	△21,993
営業活動によるキャッシュ・フロー	△831,925	△189,808
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△111,377	—
有価証券の売却による収入	—	40,000
有形固定資産の取得による支出	△6,274	△1,572
有形固定資産の売却による収入	43,044	6,744
無形固定資産の取得による支出	△18,120	△3,800
敷金及び保証金の差入による支出	—	△57
敷金及び保証金の回収による収入	3,993	6,789
出資金の払込による支出	△2,000	—
国庫補助金の受取額	13,499	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△10,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,233	38,103

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	149,998	—
長期借入金の返済による支出	—	△1,842
リース債務の返済による支出	△14,005	△14,005
自己株式の取得による支出	△56	△41
配当金の支払額	△20,237	△12
その他	△2,900	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	112,799	△15,900
現金及び現金同等物に係る換算差額	72,181	643
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△724,178	△166,961
現金及び現金同等物の期首残高	2,321,426	1,654,001
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,597,247	1,487,040

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		中間 連結損益計算書計上額
	自動車流通事業	リースバック 関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,718,939	40,401	9,759,340
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,718,939	40,401	9,759,340
セグメント利益又は損失(△)	△75,959	6,615	△69,344

(注) セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		中間 連結損益計算書計上額
	自動車流通事業	リースバック 関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,169,336	106,029	9,275,366
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,169,336	106,029	9,275,366
セグメント利益又は損失(△)	△159,783	25,817	△133,966

(注) セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。